

第5回 グランドマスターズホッケーアジアカップ(韓国 東海市)

トレーナー活動報告書



期間：2019.10.17. - 10.23.

報告者：河西紀秀

関係者各位

第5回 グランドマスターズホッケーアジアカップ

拝啓

秋冷が爽快に感じられる、いい季節を迎えました。皆様にはいよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご厚情を賜り、心から感謝しております。

遅くなりましたが、大会期間中におけるトレーナー活動報告をさせていただきます。今大会に参加した選手数は34名（GM、GGM）であり、大会期間中にトレーナー対応した選手数は、延べ85名（GM58名、GGM27名）でした。対応した部位別でみるとGMでは大腿部、腰部の故障者が多く、その処置においてはテーピングが大半でした。GGMも同様に大腿部、腰部の故障者が目立ち、処置としては物理療法、テーピングなどの対応が目立ちました。

試合後は選手がトレーナー室に足を運びケアを求める選手も多く、リカバリーの重要性を感じている選手が多く存在しました。大会期間中のみならず、日常における日々のコンディショニングの取り組みが重要であることをお伝えしながら、選手教育を図るいい機会を得たと感じています。

1件、試合中に下腿骨折を受傷した選手がおりましたが、現地の医療機関を受診し、患部の固定、松葉杖にて無事に日本に帰国されています。

最後に大会前からお世話になった高瀬様をはじめ、多くの関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

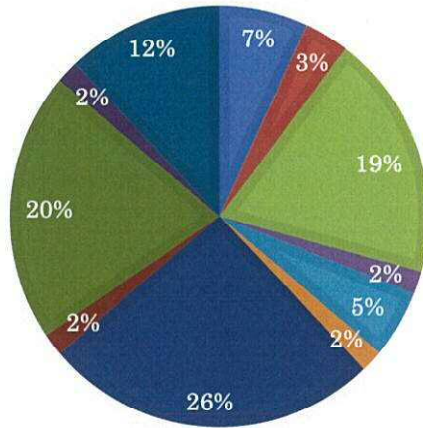
敬具

令和1年10月31日

アスレティックトレーナー 河西紀秀

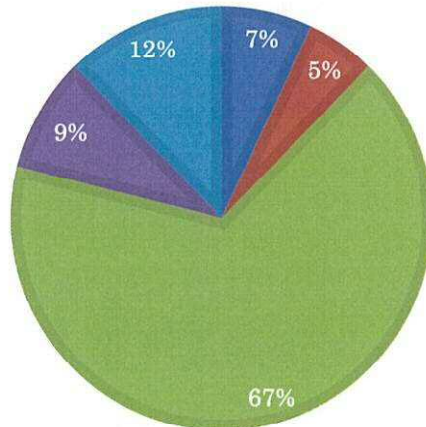
### 傷害部位 (GM)

■ 下腿部 ■ 肩 ■ 腰部 ■ 手指 ■ 足部 ■ 足趾 ■ 大腿部 ■ 脳震盪 ■ 膝 ■ 肘 ■ 肋骨



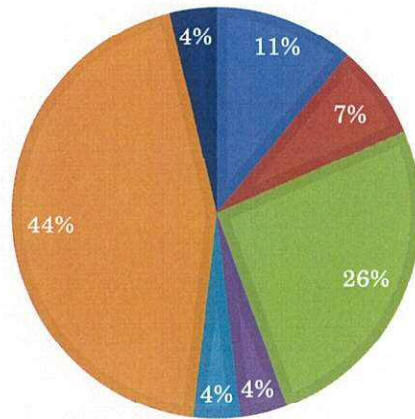
### 処置内容 (GM)

■ アイシング ■ ストレッチ ■ テーピング ■ その他 ■ 物理療法



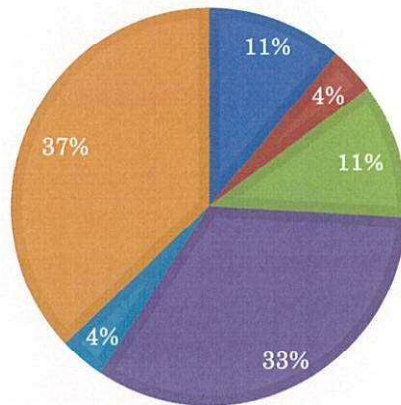
### 傷害部位 (GGM)

■ アキレス腱 ■ 下腿部 ■ 腰部 ■ 手指 ■ 足部 ■ 大腿部 ■ 肋骨



### 処置内容 (GGM)

■ アイシング ■ コンディショニング指導 ■ ストレッチ ■ テーピング ■ その他 ■ 物理療法





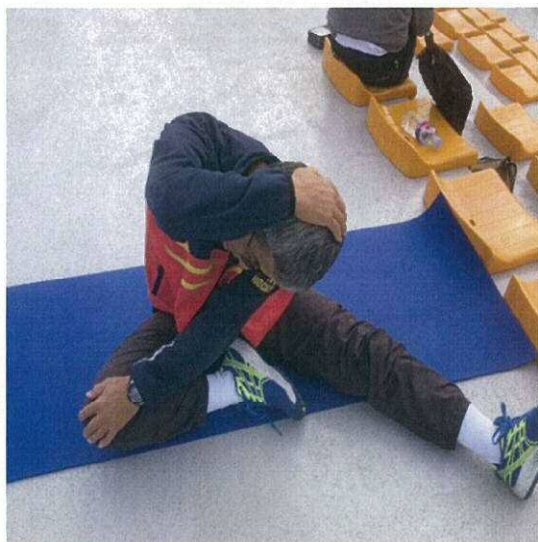
【活動風景】



【テーピング】



【物理療法】



【コンディショニング指導】